



浅沼 幸雄 議員  
(政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 平成 29 年度の施政方針について

# 子ども達に身につけさせたい「生きる力」とは

問……………

教育長が、遠野の子ども達に身につけさせたいとしている「生きる力」とは、どのような力か。

答……………

浅沼議員が市長への一般質問のなかで話した「人に言われてやるのではなく、自分で考えてやる」。そして市

長が浅沼議員の人づくりに対しての質問への答弁の中で「課題に気づく能力」、「コミュニケーション能力」、「解決への行動力」、それが大事だと話された。

社会に出て、変化が激しく先行き不透明ななかで生きていく子ども達に、今、身につけさせるべき能力というのは、力というのは、まさにそういうものだと考える。

それを学校教育におきかえると、知・徳・体を側面からバランスよく育てていく事がとても大事であり、通じるものがあることを改めて感じさせられた。

問……………

「生きる力」を育んでいくために、どのような施策に取り組むのか。

答……………

現在子ども達は、先生の教え込みではなく、「わかった」「できた」を実感できるために、▽今日は何を勉強するのかわかる。▽友達と話し合いをしながら自分の考えを深めていく。▽授業の最後には、今日はこういうことが「わかった」「できた」という事をふりかえる。

そういう授業を、今遠野市では、小中学校の9年間のスパンで取り組んでおり、引き続き

# 「生きる力」を育む方策は

き取り組む。

また、先生方には授業力をつけてもらいたい。それには、目指す授業がどういふものかを一人一人の先生にイメージしてもらうために、先進校の視察を

実施、そこで学んだことを、日常の実践に取り入れ授業実践したり、お互いに授業を見あつたりして授業力を高めている。



学校・保護者・地域・行政が一体となり育まれる遠野の子ども達の「生きる力」



萩野 幸弘 議員  
(躍進とおの)

一問一答方式

# 地元2高校存続に向け部活動等の魅力化を

問……………

今回の再編案は2校それぞれの歴史を閉じ、新たに1校新設する意味か。

答……………

1校の新設校となる場合、学校名や校章、校歌、制服等、新しくなるが、地域の代表者(市民)で構成する検討委員会を設置し、そ

問……………

の調整結果を尊重し、県において決定する。

答……………

市民の中にはどちらか一方に統合されると思っている方もおられるようだが。

問……………

文武両面における魅力化アップは直ぐにでも実現可能なものから着手する。空手は新年度から2高校ともに部活動として取り組むほか、緑峰高校の「馬事研究会」を部に昇格させるのか。

答……………

だ。前述の検討委員会の調整によっては、両校の歴史も継承する事が可能と認識している。

問……………

市外の高校を希望する理由の分析はしているのか。

答……………

昨年6月に中学3年生を対象に実施したアンケートでは「部活動」が12%と最も割合が高く、次いで「大学進学」が11%という結果である。

# 遠野駅舎の活用案と周辺のまちづくり対策は



SL 銀河出発日の遠野駅前の様子

出されたアイデアをまとめていくところだ。

問……………

駅舎活用案として「駅ビル」や「高齢者向け市営住宅」にする案はどうか。

答……………

駅舎を中心とした活性化案を検討する市民ワークショップを企画し、計5回開催した。現在ワークショップで

市営住宅は検討に値する。様々な選択肢をJR側と誠心誠意の話し合いの中で議論していきたい。

市内2高校に特進ク